

入ってよかった同友会

〈企業づくり〉同友会活動と自社経営は不離一体



■村上 敦子
佐世保支部
(株)村上彫刻
専務取締役

同友会には2015年に入会しました。入会前は個人事業として造船の銘板業に特化し営んでいましたが、既存の取引先に依存した経営形態に甘え、マネジメントや新しい取り組みを怠っていたことにより、経営環境もどんどん厳しさを増すばかりでした。そんな状況でしたので、経営の立て直しに取り組むため、同友会に入会し、本当に多くのことを学びました。創業49年にして初めてできた経営指針、入会半年後に諸先輩方にご指導を賜りながら開催した第1回経営計画発表会、計画書に基づいた新しい分野へのチャレンジ、生産管理への取り組み、法人成り、色々取り組みできました。

社長である主人、そして社員と共に同友会での学びを実践し、経営形態も大きく変わりました。まだまだ未熟ですが「同友会活動と自社経営は不離一体」を合言葉にこれからも同友会で学び続けたいと思います。

〈地域づくり〉行政とともに進む経営発展のための環境づくりの意味とは？



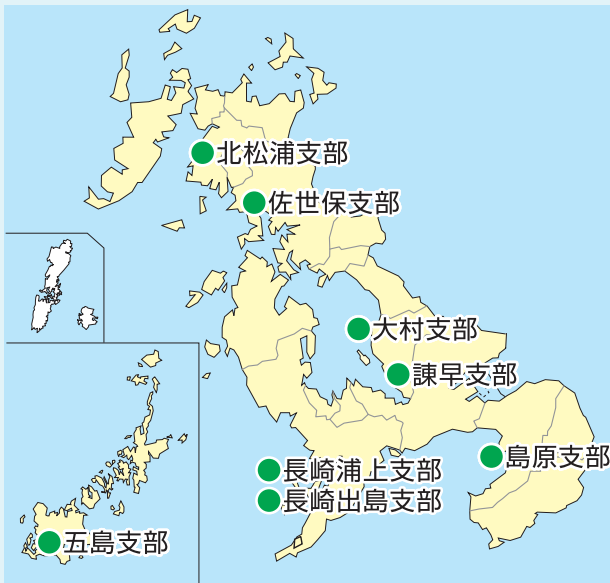
■時 忠之
大村支部
(株)大幸企画
代表取締役

同友会が提唱している運動の一つに「地域における中小企業振興基本条例の制定」があります。これは中小企業が主役のまちづくりを行政が内外に宣言し、そのことを自覚した企業家が自分たちで活動しやすい経営環境を整えて事業を発展させていくシステムです。

同友会に入会すると、制定に向けた活動や、制定後に定期的に開催される振興会議へ参加する機会があります。今まで以上に行政と民間の距離が縮まり、官と民が常に一体となった良好な関係性が生まれるのです。

自社の経営努力だけでは補えないところを、行政が環境整備して支える好循環と、その活動を通した事業者自身の行政との固い結びつきにおいて、同友会活動は欠かせません。

長崎県中小企業家同友会の支部構成



中小企業家同友会の特徴

- 同友会は、異業種の経営者団体です。
- 経営者または、それに準ずる方が入会できます。
- 同友会は全都道府県にあり、全国の会員と交流できます。
- 同友会では、中小企業家の生の体験を持ち寄り、お互いの失敗例や成功例から学び合います。
- 同友会は、会員の会歴、企業規模の大小などに関係なく、対等平等に意見を出し合い、活動します。

入会の手続き 1.同友会会員または同友会事務局の推薦が必要です
2.会費/入会金 20,000円・月会費 8,000円
(銀行口座引落し 手数料は別途で負担いただけます)



お問合せは
**事務局 ☎095
822-0680**

〒850-0875
長崎県長崎市栄町1-20
大野ビル5F
TEL.095-822-0680
FAX.095-824-4623
E-mail:info@nagasaki.doyu.jp

企画制作:情報広報委員会 2022.11

経営の悩みは 経営者に聞け!

相談できる
仲間がいない

社員が
定着しない

社員の
採用が
できない

事業展開が
わからない

後継者が
いない・
育たない

経営計画を
つくりたい

長崎同友会ホームページ

例会案内・活動報告配信中!
www.nagasaki.doyu.jp

長崎同友会

検索

click!



長崎県中小企業家同友会



本音で語り合い、共に学び合う仲間がいます。

長崎県中小企業家同友会のスローガン

- 一、会員の要望、相談に応えられる会にしよう。
- 一、団結してわれわれの企業を発展させよう。
- 一、組織の力で中小企業の新時代を築こう。
- 一、みんなのちえと力で同友の輪を拡げよう。

よい会社づくりをめざす経営者の団体です。

中小企業家同友会は、「中小企業の経営を良くしたい」という目的のもと、1957年東京で設立され、1972年全国で10番目に長崎県中小企業家同友会が誕生しました。現在全都道府県に約46,500名、長崎県内には、8支部約710名の会員が活動しています。中小企業家が自主的に参加し、手作りの運営を心がけ、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動するという特色が同友会にはあります。一人ひとりが主人公として知恵と経験を出し合い、本音で謙虚に学びあい、学んだことを自社に取り入れ実践して、自社の経営力強化に役立てます。

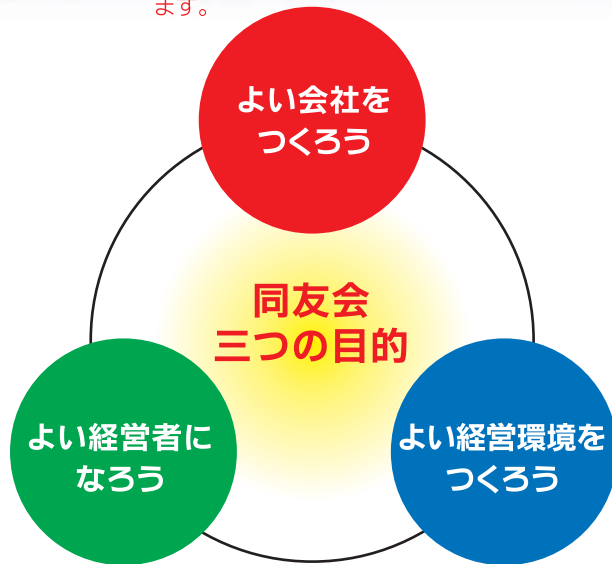
「自主・民主・連帯」の精神で運営しています。

「自主・民主・連帯」の精神で、会員自らが会の運営を行っています。自主的参加が原則で、どの支部例会・委員会にも自由に参加できます。思想、信条、性別、業種、企業規模を問いません。入会されたその時から他の会員と対等な立場で参加できます。

国民や地域と共に歩む企業づくりをめざしています。

同友会は、豊かな国民生活の実現に貢献し、提供する製品やサービスが人々の暮らしの向上と地域経済の発展につながる中小企業をめざしています。また、雇用の創造や特色ある地域づくりをめざし、長崎経済の発展のために自治体や他団体・地域の人々と連携した活動をすすめています。

会員の経験と知識を交流して
企業の自主的近代化と強靱な
経営体質をつくることをめざ
します。



中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

中小企業をとりまく、社会的・経済的・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を安定させ日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

活動紹介

例会：毎月1回の勉強会



例会は参加者全員が主役で、そして学びの場！経営体験報告を聞き、それを問題提起として全員参加のグループ討論を行い「深め、互いに学び合い、気づき合う」ことに同友会の例会の魅力があります。各支部において毎月開催しています。



経営フォーラム



年に1回開催される長崎同友会の県大会です。全国大会に倣い、企業経営のあり方を学び、会員企業の更なる発展を目指します。

全国大会



全国総会、全国研究会、青年経営者全国交流会をはじめ、様々な全国交流会等が開催され、各分野において高いレベルでの学び合いができます。

経営労働委員会



経営理念、10年ビジョン、経営方針、経営計画から構成される「経営指針」や就業規則の作成など、様々な切り口のセミナーや勉強会を開催し企業経営への実践を行っています。

共育委員会



合同入社式、新入社員フォローアップ研修、幹部研修など、経営者と社員が共に学び、共に育つ研修会を企画・開催しています。

政策委員会



地域と共に歩む中小企業として行政や他団体と積極的な交流を図ります。また地域経済発展のため、中小企業振興基本条例の制定・推進運動を展開しています。

青年経営者会



青年経営者の資質の向上を計り、会員企業の振興発展と同友会活動の発展強化に寄与する事を目的とします。入会資格は同友会会員で51歳以下、もしくはは会員企業の後継者です。

その他の委員会活動

- 例会委員会
- 仲間づくり委員会
- ダイバーシティ委員会
- 共同求人委員会
- 情報広報委員会
- ビジョン委員会